安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 :**ザインSP**
製品種類 :ポリマーセメントモルタル
使用上の制限 :業務用
会社名 :シーカ・ジャパン株式会社
住所 :東京都港区元赤坂 1 丁目 2 番 7 号 赤坂 K タワー7F
電話 :03-6434-7291
緊急連絡先電話 :Sikaテクニカルセンター 047-436-0811
SDS No. : 410161000-4

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素
GHS分類
物理化学的危険性
引火性液体:区分に該当しない
健康に対する有害性
急性毒性(経口):分類できない
急性毒性(経皮):分類できない
急性毒性(吸入):分類できない
皮膚腐食性/刺激性:区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 1
呼吸器感作性:分類できない
皮膚感作性:分類できない
生殖細胞変異原性:区分 2
発がん性:区分 1
生殖毒性:分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3
特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 1(呼吸器系、免疫系、腎臓)
誤えん有害性:分類できない
環境有害性
水生環境有害性 短期(急性):分類できない
水生環境有害性 長期(慢性):分類できない
オゾン層への有害性:分類できない

注意喚起語:危険

危険有害性情報
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系、免疫系、腎臓)
多量に又は長期に渡り吸入すると肺に蓄積し、じん肺になるおそれがある

注意書き
安全対策
取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面などの個人用保護具を着用する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。ー禁煙。
取扱い後は手洗い・うがいをする。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙してはならない。
環境への放出を避ける。容器は密閉しておく。
応急措置
気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。
皮膚(または髪) に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受ける。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。
漏出物を回収する。
保管
施錠して保管する。
直射日光、凍結を避け、換気の良い涼しい所で、容器を密閉し保管する。
廃棄
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物
化学名 :ポルトランドセメント

成分名	含有量(%)	CAS No.
ポルトランドセメント	約25	65997-15-1
シリカ(結晶質)	約70	14808-60-7
酸化カルシウム	<2	1305-78-8
硅砂	非公開	非公開
アクリル酸エステル/メタクリル酸エステル共重合体粉末状樹脂	非公開	非公開
その他添加剤	非公開	非公開

※アスベスト類の物質は含んでいない。

4. 応急措置

吸入した場合
空気の新鮮な場所へ移る。
水でよくうがいをした後、医師の診断を受ける。
皮膚(又は髪) に付着した場合
皮膚に附着したら石鹸と水ですぐに洗い落とす。
炎症、かゆみなどが出た場合、医師の診断を受ける。
目に入った場合
多量の水で15分以上洗浄し、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合
無理に嘔吐させずに、直ちに医師の診断を受ける。
被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
応急措置をする者の保護
救助者はゴム手袋、保護眼鏡などの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

この製品自体は不燃物質である。周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

不適切な消火剤

データなし

特有の危険有害性

データなし

特有の消火方法

データなし

消火を行う者の保護

データなし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には必ず、手袋、長靴、保護メガネ、防塵マスク等の保護具を着用する。

環境に対する注意事項

河川、下水道への流出、土壌への放出を防止する。

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

バキュームで吸引するか、スコップ、箒等で掃き集めて回収する。廃棄まで容器で保管する。

残りかす等は、水で洗浄する。洗浄水はアルカリ性を示すので、必要に応じて中和や希釈の処置をとり、直接河川等に流さないようにする。

二次災害の防止策

データなし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

（取扱者のばく露防止）

取扱いは、換気のよい場所で行う。

保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。

休憩前や作業後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

指定された場所以外では、飲食、喫煙を行ってはならない。

（火災・爆発の防止）

データなし

局所排気、全体換気

取扱いは局所排気装置下、または換気の良い場所で行う。

注意事項

データなし

安全取扱注意事項

粉塵が発生しないように取扱う。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

吸湿性があるため湿気に注意し、乾燥した場所に密封保管する。

袋等が破損しないように注意する。

避けるべき保管条件

大気中の湿度や雨水の進入、霜、熱及び直射日光を避ける。

配合禁忌

消防法で定める混載禁止物質との同一保管は禁止。

セットで販売している化学物質以外との配合は禁止。

容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

労働安全衛生法・作業環境評価基準 3.0mg/m3

許容濃度

第2種粉塵 吸入性粉塵: 1mg/m3、総粉塵: 4mg/m3 日本産業衛生学会(2017年版)

(吸入性結晶質シリカ) 0.03mg/m3 日本産業衛生学会(2017年版)

設備対策

労働衛生法上の規制に従って、可能な場合には、換気設備などの施設上の技術的な対策を講じて作業者を保護しなければならない。取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。防塵マスク

手の保護具

保護手袋を着用する。

着用すべき手袋の材質:不浸透性の耐油性手袋(アクリロニトリル、ブチルゴム、ネオプレン系)

眼の保護具

保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣および必要応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

取扱い後は、良く手洗いうがいをする。

この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。

汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体(粒状及び粉末)

色 : グレー

臭い : 無臭

融点/凝固点 : データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし

可燃性 :データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし

引火点 : なし

自然発火点 : データなし

分解温度 : データなし

pH : 水と接触すると12～13

粘度 : データなし

動粘性率 : データなし

溶解度

水に対する溶解度 : データなし

n-オクタノール/水分配係数 : データなし

蒸気圧 : データなし

密度及び/又は相対密度 : 3.0-3.3g/cm3 (20℃)(セメントとして)

相対ガス密度(空気=1) : データなし

粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

水と反応して安定固化する。

水と接触するとアルカリ性を呈し、目、皮膚等に刺激性があり、炎症を起こす恐れがある。

避けるべき条件

高温、多湿状態。

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状

急性毒性 :データなし

局所効果

皮膚腐食性・刺激性/眼損傷性・刺激性成分データ

水と接触するとアルカリ性(pH12～13) を呈し、眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり、眼の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性がある。

感作性

極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギーが起こる可能性がある。

生殖細胞変異原性 :

In vivoでは、気管内注入によるラット肺胞上皮細胞を用いたhprt遺伝子突然変異試験で陽性、投与方法は不明であるが、マウス肺組織のhprt遺伝子突然変異試験で陰性、腹腔内投与によるマウス小核試験で陰性、ばく露方法は不明ながら、ヒトリンパ球の染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陽性、ラット肺、末梢血を用いた酸化DNA傷害試験で陽性又は陰性、ラット肺上皮細胞のDNA切断試験で陽性である。In vitroでは、哺乳類培養細胞の遺伝子突然変異試験で陽性、陰性の結果、哺乳類培養細胞の小核試験で陽性、陰性の結果、染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陰性である。以上よりガイダンスに従い、区分2とした。

発がん性

IARC68(1997) は1、NTPはK、産衛学会勧告は1に分類しており、区分1とした。

発がんのおそれ(IARCグループ:人に対して発がん性がある) 。

生殖毒性 :データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

気道刺激性があるとの報告がある(ACGIH)。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

吸入経路では、ヒトにおいて良性のじん肺症を生じ、気管支炎、呼吸困難、咳、痰、肺気腫、胸痛がみられるとの報告がある(ACGIH)。

誤えん有害性 :データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水と接触するとアルカリ性(pH12～13)を示すため、環境への影響には注意を要する。

水生毒性 :データなし

水溶解度 :データなし

残留性・分解性 :データなし

生体蓄積性 :データなし

土壌中の移動性 :データなし

オゾン層破壊物質 :データなし
その他情報
その他の環境有害性情報 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与えるおそれがあるので取り扱いに注意する。
特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
洗浄水等は、凝集沈殿処理により洗浄してから排出すること。
汚染容器及び包装
内容物を完全に除去した後に処分する。
都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類
国連番号 :該当しない
指針番号 :該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件
粉じんの立たない方法で輸送すること。
容器の破損、内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れを防止すること。火気注意。
陸上輸送 :消防法、労働安全衛生法の輸送について定めるところに従う。
海上輸送 :船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送 :航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法
該当する化学品を意図的成分として含有せず、購入原料に不純物として含有するとの情報を受けていません。
労働安全衛生法
施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物（平成26年6月1日以前）
該当しない
施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物（平成26年6月1日施行分より）
ポルトランドセメント; シリカ; 酸化カルシウム
施行令18条の2 名称等を通知すべき危険物及び有害物
ポルトランドセメント; シリカ; 酸化カルシウム
特定化学物質障害予防規則
該当しない
有機溶剤中毒予防規則
該当しない
化学物質管理促進(PRTR)法
該当しない
消防法
該当しない
じん肺法
第2条施行規則別表 粉じん作業
海洋汚染防止法
有害液体物質(混合物)

16. その他の情報

ホルムアルデヒド放散等級　日本接着剤工業会自主管理規定　JAIA-009887　F☆☆☆☆
4VOC放散速度基準　日本接着剤工業会自主管理規定　JAIA-503737　4VOC基準適合

参考文献

JIS Z 7252, JIS Z 7253 : 2019
Supplier's data/information
化学物質総合情報提供システム（独立行政法人製品評価技術基盤機構NITE）

責任の限定について

本データシート記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、化学品の含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。
注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上